

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/11/4



スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 6 戦

11月4日(日) 予選・決勝 1 LAP=4.801km 出走：17台  
天候：晴 コース：ドライ 気温：19℃ 湿度：21% 路温：25℃  
ドライバー：大久保 一成 (AlbirexRT エンドレス #34)  
太田 達也 (アルビ RT 玉三郎ビヨ ED 岩本 #35)  
湊 雅之 (アルビ RT 玉三郎 Dream. #36)  
予選結果：湊選手 8位 太田選手 13位 大久保選手 14位  
決勝結果：湊選手 リタイヤ 太田選手 10位 大久保選手 11位

#### ■11月4日(日) 予選

3選手ともクリアラップの走行を目指すべく、時間とともにピットを出るものの、他チームもいっせいにピットから車両が出て行く。結果、3選手とも中団グループに埋もれてしまいピットロードで待機。コースオープンを待つ。

9時50分予選開始。3選手の中では一番にコースインした湊選手は3周目には2番手タイムをマーク。その後、自分より速いドライバーに引っ張ってもらいタイムを伸ばそうとペースダウン。予選も残り時間半分を過ぎたころにその速いドライバーの後ろにつくが、すぐさま他の車両が2台の間に割って入る形となり、湊選手の思惑が外れてしまう。その後は、9周目にベストラップをマーク。7番手と0.090秒差、トップから1.082秒差で8番グリッドを獲得した。

太田選手は先週の富士シリーズで3位を獲得、勢いに乗りたいたいところだったが、予選開始からしばらくは大久保選手より遅いタイムにとどまる。その後、右コーナーで縁石に乗り上げると、その際の衝撃で右フロントのタイロッドが曲がってしまう。それでも走行を続けると、最後の10周目に大久保選手のタイムを上回り13番グリッドを獲得した。

大久保選手は順調にタイムを刻んでいき、最後にベストラップをマークするが、太田選手がそれ以上のタイムをマークし14番手となった。

## ■11月4日（日） 決勝

15時41分決勝スタート。太田選手は予選で曲がったタイロッドを交換して決勝に望む。スタート後、大きな混乱もなく1コーナーを過ぎるが、直後にクラッシュが発生。8番手スタートだった湊選手の前を走っていた車両が3コーナーでスピンを喫すると、そのまま湊選手の車両の左側に激突。マシンは損傷、スピンした車両のリヤウイングが湊選手のヘルメットに当たり、傷が残るほどのクラッシュとなる。幸いにも湊選手にけがはなかったものの、湊選手含む3台がリタイヤすることとなった。

このクラッシュの影響もあり、太田選手はオープニングラップを終え2周目に入る時点で8番手に浮上。7番手車両も見えていたが、周を重ねるごとに離されていき、逆に後ろ2台との距離が詰まっていく。何とか我慢のレースを続けていたが、7周目、1コーナーで並べられるとその後2台にかわされ10番手にポジションダウン。そのままチェッカーとなった。

大久保選手は13番手で2周目に入ると1台パスして12番手に浮上。周を重ねるごとにペースアップし11番手とバトルとなる。5周目に前車をとらえ11番手に浮上すると、そのまま後続を引き離してフィニッシュとなった。

### ○大久保選手コメント

今年最後のレースでしたが、ある程度満足できるレース内容でした。今年1年、なかなか思うような成績が残せませんでした。最後は自己ベストが出せてよかったです。今年1年、チームの皆さんにはしっかりとサポートして頂きありがとうございました。

### ○太田選手コメント

先週の富士とマシンが変わる状況でしたが、うまく対応できたと思います。ただ、思うようにタイムアップできなかつたので悔しいです。今年は茂木シリーズ・富士シリーズと参戦し、たくさん勉強できました。最後の日本一決定戦に出られるのであれば、最高の成績を残せるよう頑張りたいです。チームの皆さん、サポートしていただいた皆さん、1年間ありがとうございました。

### ○湊選手コメント

もてぎシリーズ最終戦ということで気合を入れて望みましたが、レースアクシデントでリタイヤという結果は悔しいです。今年最後のレースをこんな形で終えたくないの、もし日本一決定戦に出られれば全力で頑張りたいです。最後に、今年1年チームの皆さんにはサポートしていただきありがとうございました。

### ○中村監督コメント

湊選手は土曜日まで好調だったのですが、日曜日の予選にポジショニングを失敗し、う

まくタイムが上がりませんでした。そこが原因で決勝のクラッシュに繋がりました。速さ  
は見えるものの、まだ強さに関して勉強しなきゃいけない部分がたくさん見つかりました。  
来年飛躍できるように努力いたします、

太田選手は先週の富士から今週のもてぎと、車両を変えてのレースでしたが器用さが発  
揮されました。マシンの変更に伴いドライビングも器用にこなしましたが、直接タイムア  
ップには繋がらず悔しい思いをしました。来年度はチャンピオンを取れる候補の一人とな  
りました。

大久保選手はベテランらしい落ち着いた走りで最後まで走行しました。最後に自己ベス  
トも出し、本人的には非常に努力をした一年だったと思います。

これで全シリーズ終了しました。今年度は全シリーズでポイントを獲得し、表彰台も 4  
回上がることができ成長した一年でした。12月の日本一決定戦にはチーム一丸となって挑  
戦いたします。また、来年度に関しては、表彰台はもとよりシリーズチャンピオンを獲得  
できるよう努力致します。今年度応援していただいた皆様有難うございました。





**P PLUS** Nankai Plan Co.,Ltd.

**鈴木会計**  
埼玉・川口  
<http://www.tknf.com/sds>

**M.I.D Japan Inc.**  
Mitsui Impress Development



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース